

## ＜今冬の需要想定の前提条件＞

グラフ①: 2011年度(平成23年度)並みの厳寒 グラフ②: 平年並みの気温

定着節電分として、26万kW程度を需要想定①②にそれぞれ織り込み。また、今冬より風力発電分を供給力に計上。(1月4万kW、2月3万kW程度)

### 【供給力確保に向けた取り組み】

#### ○火力発電

- ・緊急設置電源: 約74万kW※1を計上  
(東新潟港3号系列、新潟6号、東新潟5号、秋田5号)

※1 八戸5号はコンバインドサイクル化工事のため今冬の供給力には計上していない。気温影響等により、実際の供給力は認可出力を下回る場合がある

- ・長期計画停止火力: 35万kW(東新潟港1号)を計上
- ・発電所の点検時期が需要のピーク期間に極力重ならないよう調整

#### ○水力発電

- ・大規模改修工事を終えた豊実発電所を計上
- ・平成23年7月の新潟・福島豪雨で被災した発電所のうち、今後順次運転を再開する発電所を計上※2

※2 新潟・福島豪雨で失った供給力100万kW程度のうち、今冬(1月)は50万kW程度まで回復見込み。

- その他、自家発余剰電力の購入、需給調整契約の積み上げ など

